


## 報 告 書

調査・研究 テーマ	子どもの育ちを本から支えるために何ができるか
目 的	「こども本の森 中之島」を通して、子どもたちが豊かな感性と創造力を育む場としてどのように図書館を運営、活用しているかを知り、さいたま市の今後に生かすため
内 容	<p>日 時： 2023 年7月13日 (木) 16時30分～17時00分</p> <p>視察先：「こども本の森 中之島」 大阪市北区中之島 1-1-28 <a href="https://kodomohonnomori.osaka/">https://kodomohonnomori.osaka/</a></p> <p>参加者：高柳 俊哉、出雲 圭子、佐々木 郷美、相川 綾香 報告書作成者：出雲 圭子</p> 
概 要	<p>建築家 安藤忠雄氏から大阪市への寄贈によって建設され、2020年に開館した。施設を将来にわたって、子どもたちに本や芸術文化を通じて創造力を養ってもらう施設として活用していくため、寄附金を募集している。2022年9月末時点で、886,894,086円（法人・個人合わせて1,272件）の寄附が集まっている。</p>

## 概要



絵本や幼年童話、児童文学、小説、各分野の図鑑、自然科学書、芸術書、育児本など様々なジャンルの本が展示されている。日本十進分類法の分類で配本されておらず、自然とあそぼう、体を動かす、動物が好きな人へなど日常生活や好奇心に寄り添うような12のテーマに分けて並べてある。また装飾として、壁一面に本を飾り、5段以上の手が届かない本は下段の棚に配架されている。所々に本から抜き出した言葉や家族の写真、本棚の上部には本を広げるなどして工夫した展示がされている。

読み聞かせやお話を館内ですることができ、タイミングによっては司書の読み聞かせイベントも行われている。階段は上り下りするだけでなく、読む場所としても利用できる。貸出は行っていないが、晴天時には屋外に持ち出しての読書も可能（一部制限あり）。

<p>所見 ・ 成果</p>	<p>子どもたちに本の表紙が見えるように配架され、気になるものが手に取りやすく知的好奇心を刺激する展示となっている。また音や声を出して本を読むことができる空間は子どもたちと本が身近な存在になりやすい取り組みであると考えている。</p> <p>本やこのような空間との出会いが子どもたちの創造性、感性を育む場となり、自発的に本の中の言葉や感情、アイデアに触れ、世界には自分と違う人や暮らしが在ることの理解につながる。</p> <p>このような視点を持ち、市議会において本会議や委員会での発言、また市長への政策要請等に盛り込んでいきたい。</p>
<p>会派基本方針</p>	<p>1. 『誰ひとり取り残さない』視点での施策展開  4. すべての子どもに学びと成長の機会充実  5. 社会全体で子どもと若者を支えるまち  6. 子育て世代に行き届く支援体制の構築  13. 多様な価値観と人権尊重・ジェンダー平等の推進  14. 誰もが健康で心豊かにスポーツ・文化にふれあえるまち</p>